

てつどう えき  
鉄道と駅(2)けいせいでんてつ とうきょう  
京成電鉄・東京メトロ

## 京成電鉄

京成電車が都内を初めて走ったのは、大正元年(1912)11月3日のことで、押上駅～伊予田駅(現江戸川駅)間と、曲金駅(現高砂駅)～柴又駅間でした。その時の模様を「都新聞」(現東京新聞)は次のように報じています。

京成電軌第一期電気工事は落成して一日其の筋の検査も終了せるに付き愈々三日より開業せり。右開通区間は本所押上より市川に至る(中略) 停車場 押上(起点)、曳舟、四ツ木、立石、曲金、市川(終点)、支線柴又

記事には「市川(終点)」となっていますが、実際は江戸川を渡る鉄橋は未着工だったため、軌道は伊予田駅(間もなく市川駅に改称、大正3年(1914)8月30日には江戸川駅に改称)までで、対岸の市川までは伝馬船を接続させてお客を運びました。

江戸川鉄橋の工事が始まったのは大正3年(1914)3月で、江戸川の流れが速く工事が難航したため、途中で軍の鉄道連隊に工事を依頼し、8月末に市川新田(現市川真間)まで開通しました。その後は順調に東へ延び、大正10年(1921)7月には千葉まで開通し、現成田駅まで延長されたのは昭和5年(1930)でした。

昭和2年(1927)に江戸川の拡幅工事により、江戸川橋が鉄橋に架け替えられ、市川橋と改称されるとともに、橋梁が複線化されました。その後、昭和7年(1932)5月15日に区内2番目



京成小岩駅(昭和30年頃)

## 江戸川区郷土資料室

の京成線駅である京成小岩駅が開業しました。

## 東京メトロ 東西線

昭和44年(1969)3月29日、本区内を初めて地下鉄が走りました。帝都高速度交通営団(現東京メトロ)の東西線東陽町駅～西船橋駅間15kmの開通で、区内には葛西駅が設置されました。東西線の路線名の由来は東京を「東西に横断する」意味からきています。

東西線の開通はバス交通のみに頼っていた本区南部の住民に大きな利便を与え、都心へアクセスしやすくなりました。同年4月8日からは国鉄(現JR)との相互乗り入れが開始され、中央線三鷹駅～東西線～総武線津田沼駅間が直結されました。

本線は地下鉄ですが、江戸川区内約3.8kmはすべて高架となっています。地上区間を比較的多く持つ地下鉄路線は他にもありますが、全線の半分近くも地上区間を走る地下鉄は珍しいです。また南砂町駅～西葛西駅の間にある荒川中川橋梁は全長1,236mで、平成3年(1991)に関西国際空港連絡橋が出来るまでは私鉄(JR以外)では最も長い鉄道橋でした。

また昭和53年(1978)2月28日、荒川中川橋梁上で突風を受け、通過中の10両編成の中野行3両が脱線(うち2両は転覆)する事故が発生しました。当時ニュースで「地下鉄が突風で脱線」と聞いた人は、「地下鉄で突風?」と不思議に思ったそうです。

なお、西葛西駅の開業は昭和54年(1979)10月1日で、同61年(1986)7月12日には、葛西駅高架下に地下鉄博物館がオープンしました。

平成16年(2004)4月1日、営団地下鉄は民営化して、東京メトロとなりました。



東西線の鉄橋工事(昭和39年)

## 江戸川区郷土資料室

〒132-0031 東京都江戸川区松島 1-38-1 グリーンパレス 3階  
TEL : 03-5662-7176 (9:00~17:00)